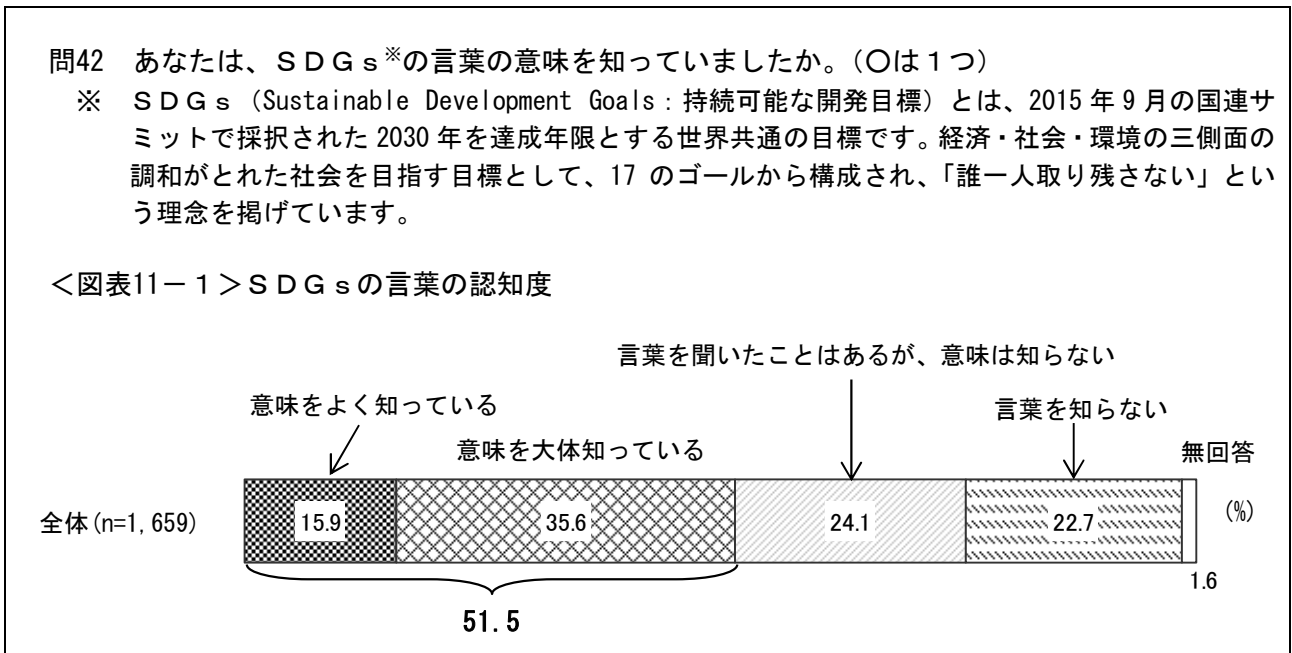


## 11 SDGs等について

### (1) SDGsの言葉の認知度

◇『意味を知っている（計）』が5割を超える



SDGsの言葉の意味を知っているか聞いたところ、「意味をよく知っている」（15.9%）と「意味を大体知っている」（35.6%）を合わせた『意味を知っている（計）』（51.5%）が5割を超えている。

一方、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」（24.1%）が2割台半ば、「言葉を知らない」（22.7%）が2割を超えている。（図表11-1）

#### 【地域別】

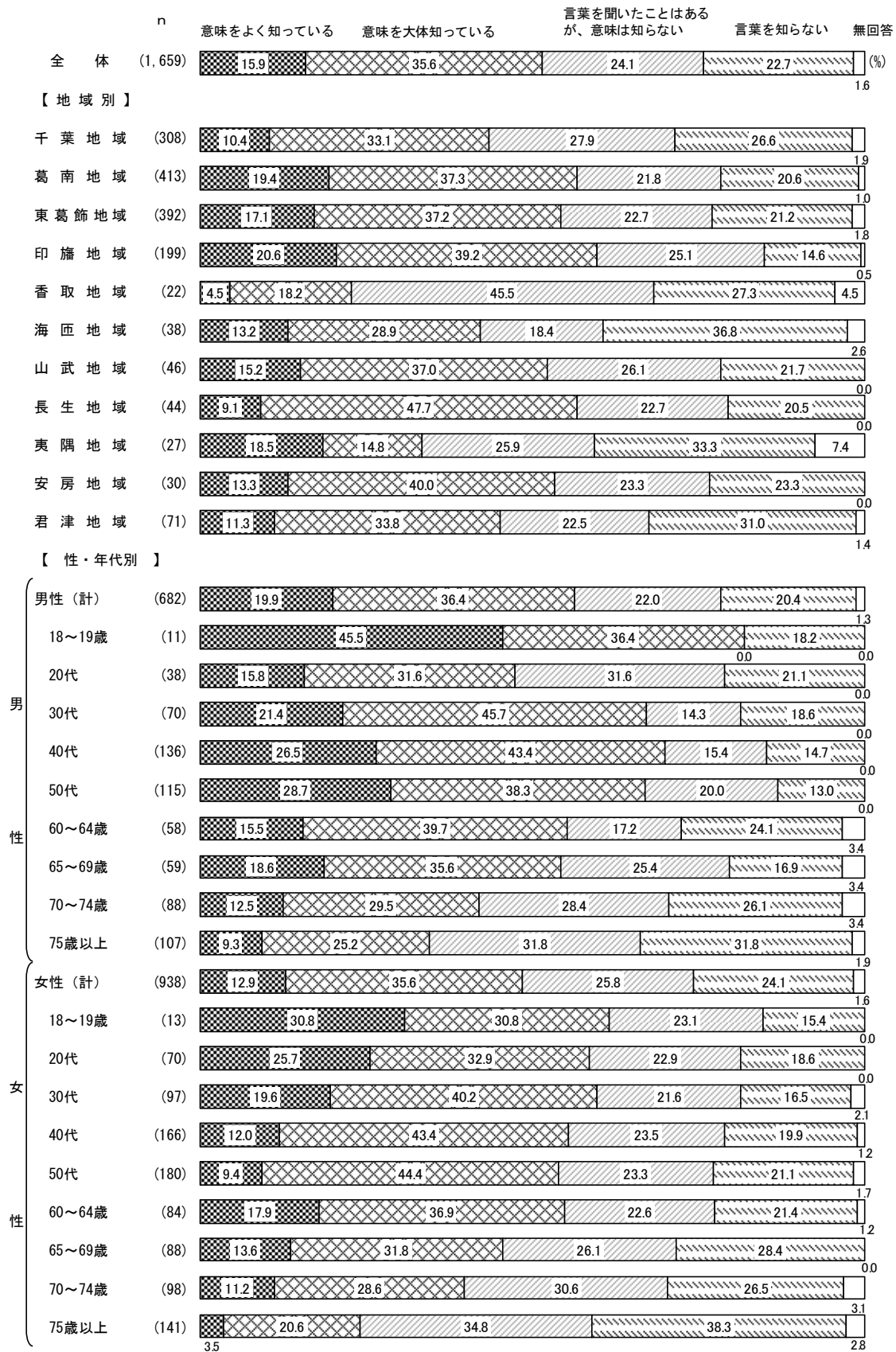
地域別にみると、『意味を知っている（計）』は“印旛地域”（59.8%）が約6割、“長生地域”（56.8%）と“葛南地域”（56.7%）が5割台半ばで高くなっている。

一方、『言葉を知らない』は“海匝地域”（36.8%）が3割台半ばで高くなっている。（図表11-2）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『意味を知っている（計）』は男女とも年代が低いほどその割合が概ね高い傾向にあり、特に男性の40代（69.6%）、男性の30代（67.1%）と50代（67.0%）が約6割で高くなっている。（図表11-2）

<図表 11-2> SDGsの言葉の認知度／地域別、性・年代別



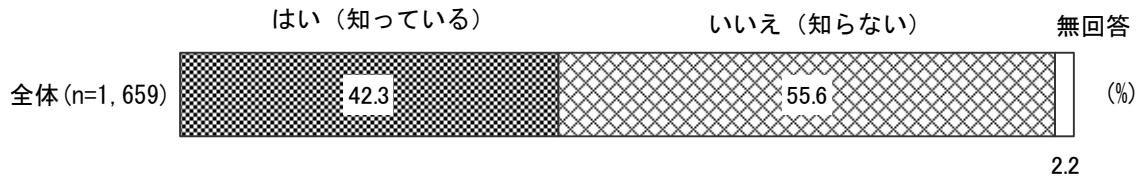
## （2）「ダイバーシティ」概念の認知度

◇「いいえ（知らない）」が5割台半ば

問43 「ダイバーシティ※」という概念を知っていましたか。（○は1つ）

※ 「ダイバーシティ」とは、多様性のことをいい、性別や国籍、年齢、障害の有無などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことを「ダイバーシティ社会」といいます。

＜図表11-3＞「ダイバーシティ」概念の認知度



「ダイバーシティ」という概念を知っていたか聞いたところ、「はい（知っている）」（42.3%）が4割を超えている。

一方、「いいえ（知らない）」（55.6%）が5割台半ばとなっている。（図表11-3）

### 【地域別】

地域別にみると、『はい（知っている）』は“印旛地域”（51.8%）が5割を超え、“葛南地域”（50.6%）が5割で高くなっている。

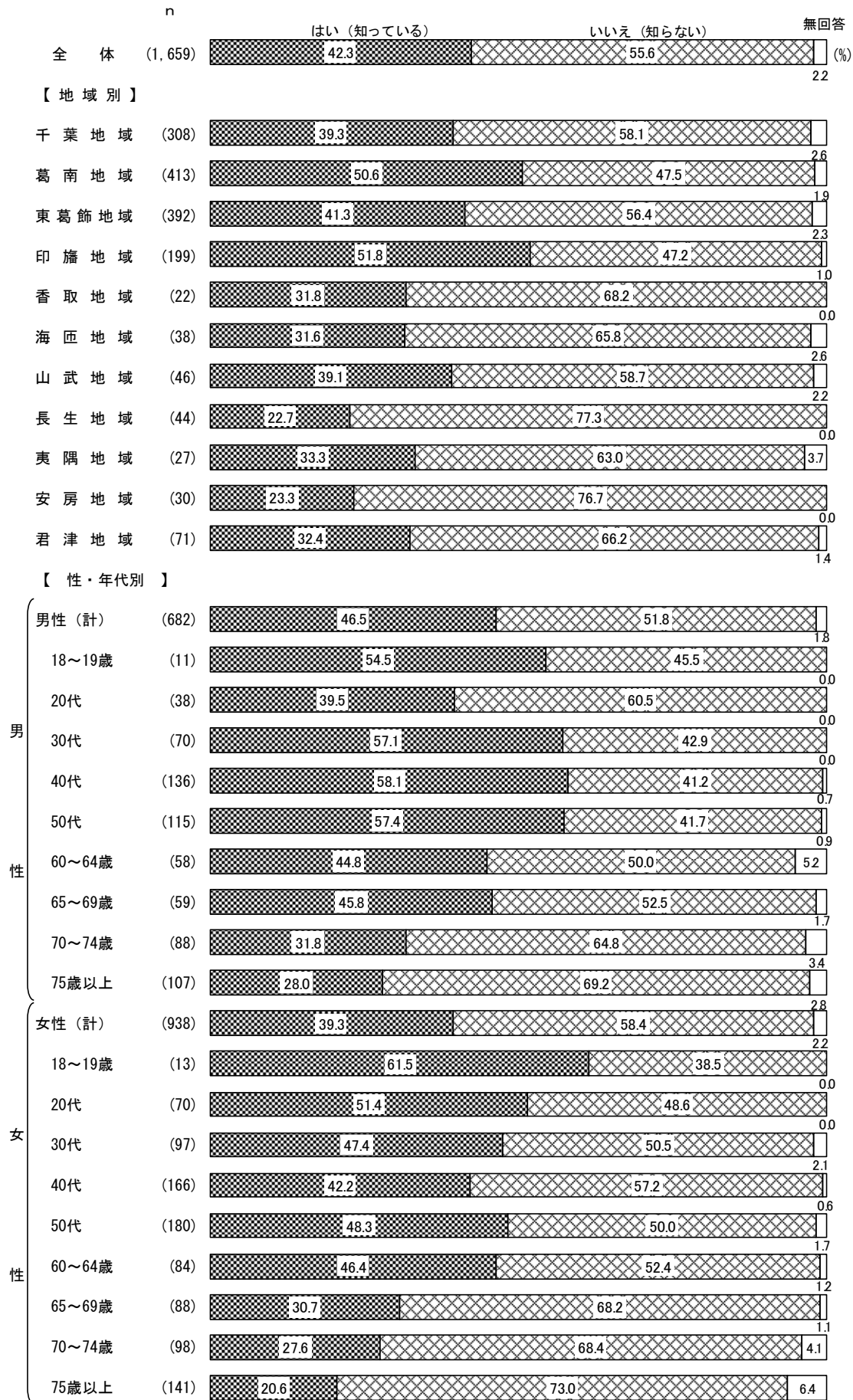
一方、『いいえ（知らない）』は“長生地域”（77.3%）が約7割、“安房地域”（76.7%）が7割台半ばで高くなっている。（図表11-4）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『はい（知っている）』は男性の40代（58.1%）、男性の50代（57.4%）と30代（57.1%）が約6割で高くなっている。

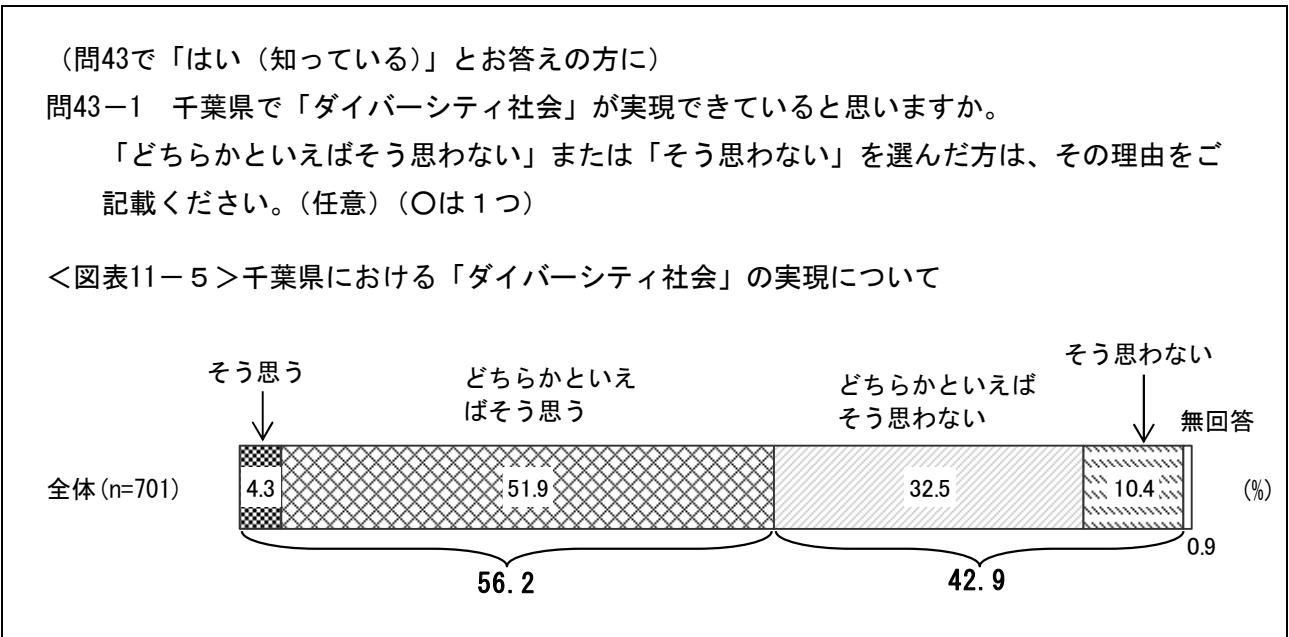
一方、『いいえ（知らない）』は女性の75歳以上（73.0%）が7割を超え、男性の75歳以上（69.2%）、女性の70～74歳（68.4%）と女性の65～69歳（68.2%）が約7割で高くなっている。（図表11-4）

<図表 11-4> 「ダイバーシティ」概念の認知度／地域別、性・年代別



### （3）千葉県における「ダイバーシティ社会」の実現について

◇『そう思う（計）』が5割台半ば



ダイバーシティの概念を知っている701人を対象に、千葉県でダイバーシティ社会が実現できているか聞いたところ、「そう思う」（4.3%）と「どちらかといえばそう思う」（51.9%）を合わせた『そう思う（計）』（56.2%）が5割台半ばとなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（32.5%）と「そう思わない」（10.4%）を合わせた『そう思わない（計）』（42.9%）が4割を超えている。（図表11-5）

どちらかといえばそう思わない／そう思わないを選んだ人の理由は以下の通り。

- ・差別や偏見があるため・なくならないため（28件）
- ・ダイバーシティ社会の実感がない・具体例を知らないため（27件）
- ・国籍・人種・言語による差別があるため（22件）
- ・多様性との共存が難しいと感じるから（15件）
- ・千葉県の取組みが遅れている・浸透していないため（15件）
- ・障がいによる差別があるため（13件）
- ・保守的な体制や考え方の人々が多いため（11件）

など、他46件

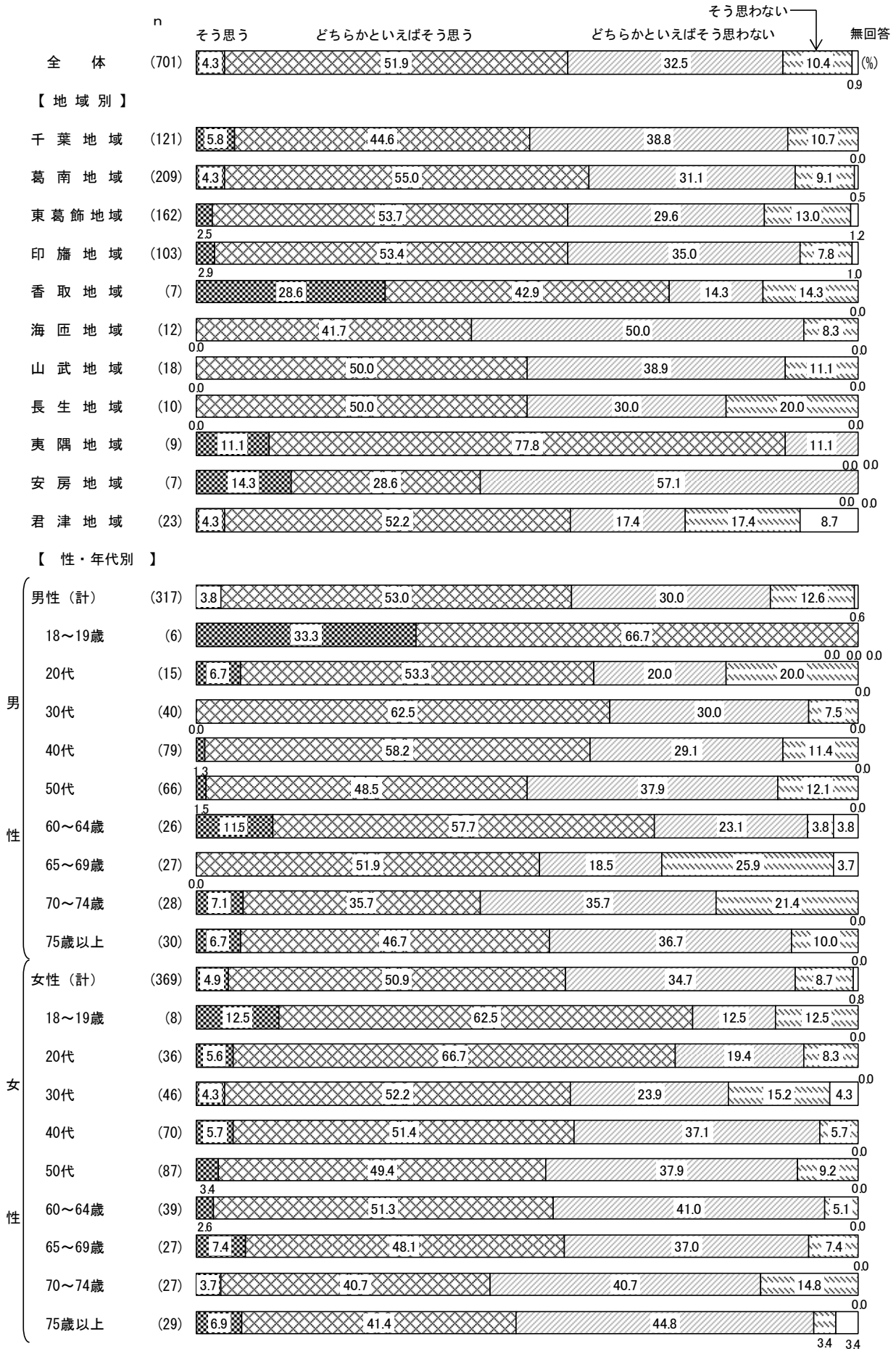
#### 【地域別】

※サンプル数が少ないため、【地域別】、【性・年代別】は参考までに図示することとする。

（8ページ「報告書の見方（5）」を参照）

（図表11-6）

[参考] <図表 11-6> 千葉県における「ダイバーシティ社会」の実現について／地域別、性・年代別

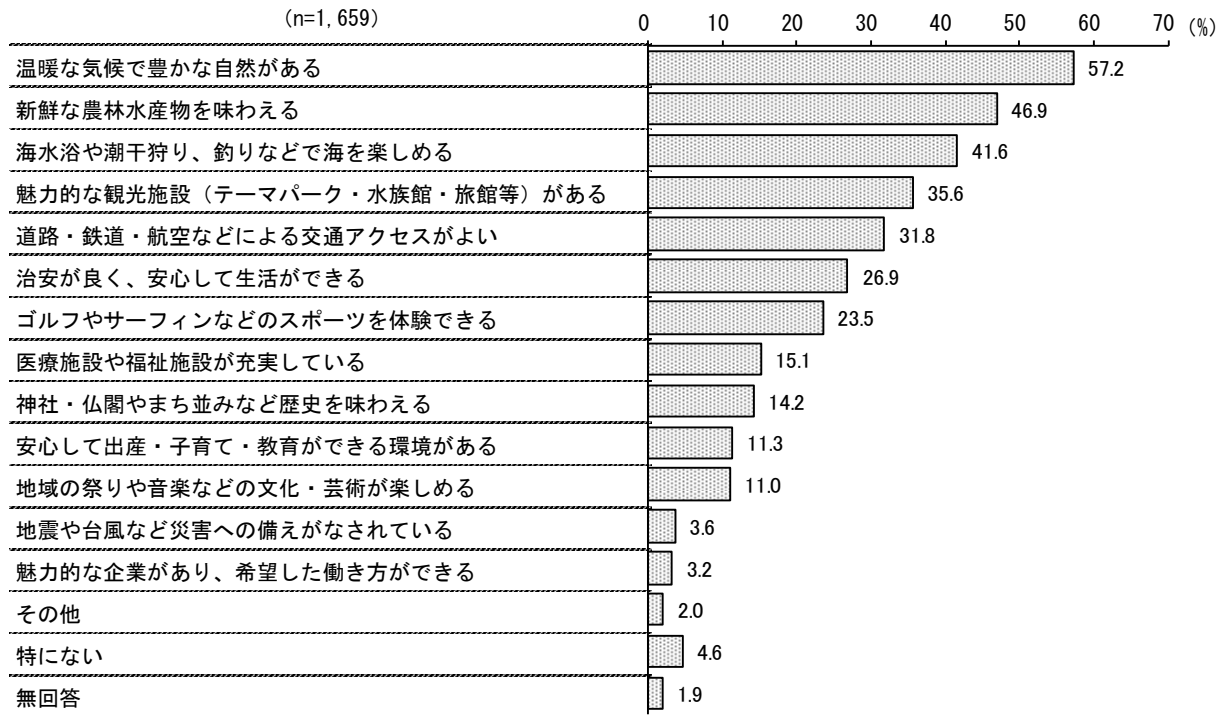


（4）千葉県の魅力

◇「温暖な気候で豊かな自然がある」が約6割

問44 千葉県の魅力は、次のどれだと思いますか。（〇はいくつでも）

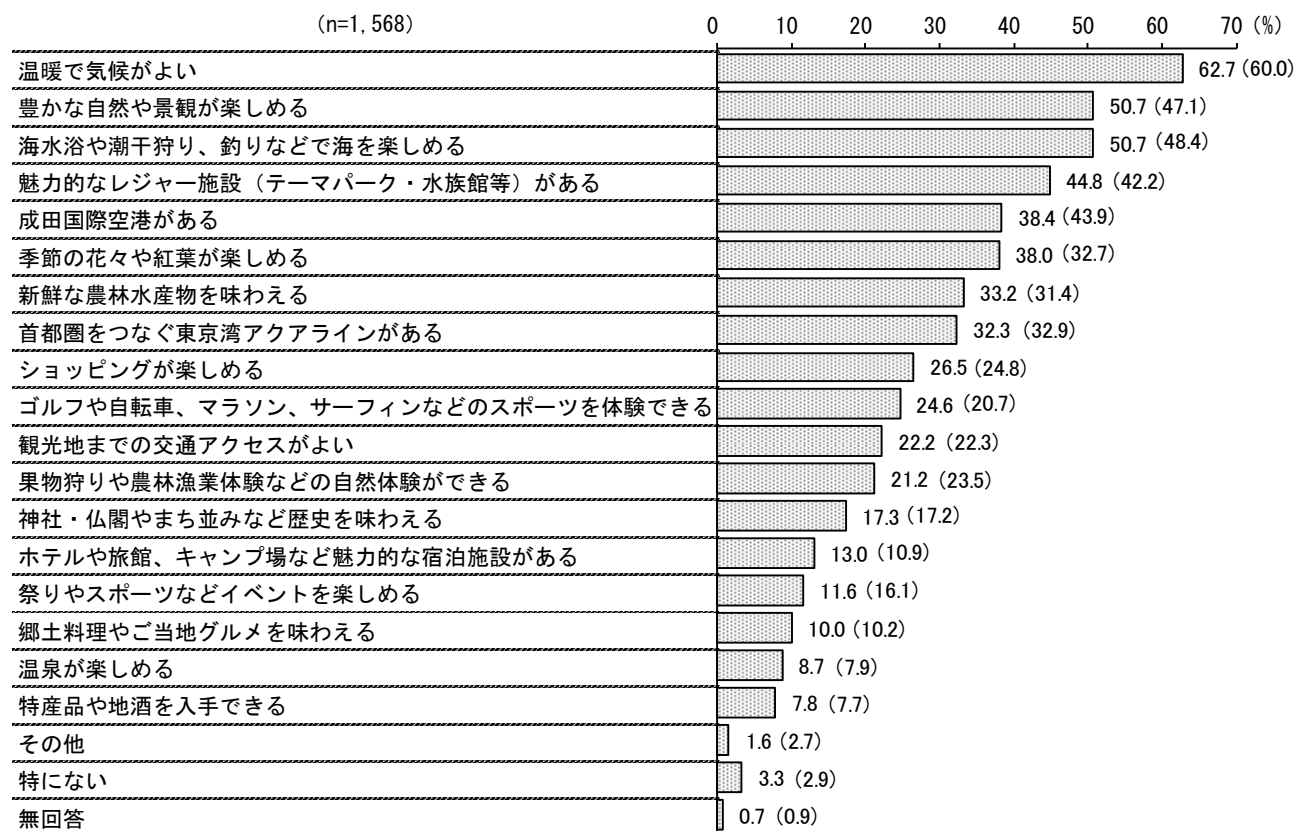
<図表11-7>千葉県の魅力（複数回答）



千葉県の魅力を聞いたところ、「温暖な気候で豊かな自然がある」(57.2%)が約6割で最も高く、以下、「新鮮な農林水産物を味わえる」(46.9%)、「海水浴や潮干狩り、釣りなどで海を楽しめる」(41.6%)、「魅力的な観光施設（テーマパーク・水族館・旅館等）がある」(35.6%)が続く。

(図表11-7)

[参考]令和元年度・2年度の調査結果（単位：％）



注）（ ）の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=1,461

※令和元年度・2年度調査で選択肢が異なり、直接的な比較はできない

【地域別】

地域別にみると、「温暖な気候で豊かな自然がある」は“安房地域”（83.3％）が8割を超え、“海匝地域”（78.9％）が約8割、“君津地域”（70.4％）が7割で高くなっている。

「新鮮な農林水産物を味わえる」は“海匝地域”（76.3％）が7割台半ば、“安房地域”（73.3％）が7割を超えて高くなっている。（図表11－8）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「温暖な気候で豊かな自然がある」は男性の60～64歳（76.3％）と女性の60～64歳（73.9％）が7割台半ば、女性の75歳以上（72.3％）が7割を超えて高くなっている。

「新鮮な農林水産物を味わえる」は女性の75歳以上（60.3％）が6割で高くなっている。

「海水浴や潮干狩り、釣りなどで海を楽しめる」は男性の40代（52.9％）と男性の50代（52.2％）が5割を超えて高くなっている。（図表11－8）



<図表11-8> 千葉県の魅力（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）

